

【試合結果】

女子 決勝トーナメント		準決勝	
日時	平成30年12月24日 (月)		9:00 ~
会場	江別市民体育館		
結果	○ 札幌新琴似北中 札幌 45	10 - 8 8 - 9 14 - 10 13 - 12 OT	● 札幌東月寒中 札幌 39
審判	主審 清水 圭	副審 須藤 健吾	

第33回北海道中学校バスケットボール新人大会



【ボックススコア】

札幌新琴似北中		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	小川 愛衣歌	×	13	2	3	1	8	1
5	最上 栞名	×	13	1	5		3	3
6	遠田 千紗	×	8		2	4	6	
7	川原 綾乃	×	3	1			6	2
8	池崎 美音	×	6		3		6	2
9	山口 久瑠美	/	2		1			
10	大内 愛姫	DNP	0					
11	松岡 遥香	DNP	0					
12	久保田 結菜	DNP	0					
13	中西 梨緒	DNP	0					
14	竹村 梨乃	DNP	0					
15	三田村 俐子	DNP	0					
16	澁谷 朱雀	DNP	0					
17	阿部 琥珀	DNP	0					
18	畠山 祐奈	DNP	0					
HC	能戸 史也							
合計			45	4	14	5	29	8

札幌東月寒中		札幌						
No.	選手氏名	出場	得点	3P	2P	FT	R	F
4	荒川 璃子	/	0				3	2
5	岡 優芽	DNP	0					
6	金丸 七海	×	11	1	4		2	3
7	高橋 仁菜	×	0				7	
8	堤 彩乃	DNP	0					
9	鈴木 真音	×	9		4	1	9	4
10	南 青空	×	13	3	1	2	2	
11	松本 彩良	DNP	0					
12	内山 悠	×	6		3		3	1
13	附田 莓香	/	0				1	
14	長濱 歌乃	DNP	0					
15	田中 千裕	DNP	0					
16	坂田 麗美	DNP	0					
17		DNP	0					
18		DNP	0					
HC	寺田 圭佑							
合計			39	4	12	3	27	10

出場 ×:スターター /:途中出場 DNP:出場なし  
 得点 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー

【戦評】

2回戦、恵み野に快勝した新琴似北と、清田との接戦で勝ち上がった東月寒との準決勝。新琴似北は#4・#5・#6・#7・#8、東月寒は#6・#7・#9・#10・#12でスタート。1Q両チームともハーフのマンツーマンディフェンス。新琴似北は、#5を中心に得点を重ねていく。一方、東月寒は3Pシュートを中心としたオフェンスを組み立てるが、思うように決まらず、得点が伸びない。1Qは10-8と新琴似北がリードで終了。2Q、東月寒#12のミドルシュートで同点に追いつくも、新琴似北#7の3P、#6のフリースローで差を広げる。東月寒はローテーションの早いディフェンスでプレッシャーをかけ、新琴似北のリズムを崩すも、依然として3Pの確率が上がらず、ファウルも重なり、苦戦を強いられる。やっと東月寒#10の3Pが決まって、1点差となるが、双方ゴール下のシュートを1本ずつ決め、前半は18-17の1点差で新琴似北のリードで終了。3Q、東月寒は出だしから加点し、18-22と逆転する。ところが、東月寒のファウルが増え、新琴似北#4のドライブからのバスケットカウントなどで新琴似北が逆転。その後競り合いが続くが、終盤に新琴似北#8、#4の連続得点で突き放す。3Qは32-27の5点差で、新琴似北がリードして終了。4Q出だし、東月寒は#10、#9のフリースローによる連続得点で30-32と追いつける。その後、一進一退の攻防を繰り返して残り5分、東月寒#10が3Pを沈め、35-36と1点差に詰め寄るが、新琴似北も#6がシュートを決め、東月寒はなかなか追いつくことができない。残り3分を切った所で、東月寒が1回目のタイムアウト。新琴似北の得点が伸び悩む中、東月寒#12がゴール下のシュートを決め、37-38と1点差に詰め寄る。残り2分を切り、東月寒のディフェンスが、少し甘くなってきた所を、新琴似が攻め、43-37と一気に差を広げる。その後、東月寒も追撃を試みるが決まらず、そのまま試合終了。終盤での集中力の差が、勝敗を決めるゲームとなった。